（仮称）豊平地区再編小学校
新校舎の配置計画案について

１．基本方針・設計の考え方
２．配置計画案について
３．事業スケジュール

１．基本方針・設計の考え方
２．配置計画案について
３．事業スケジュール

1. 基本方針・設計の考え方

施設の整備にあたっては、文部科学省の小学校施設整備指針等の考え方に基づきつつ
下記の項目に重点を置いて計画を行います。

①多様で柔軟な学習空間

・多様な学習活動を展開できる教室空間

②健やかな学習・生活環境

・快適で、温かみのある空間
・防犯や施設の安全性への配慮

③地域との円滑な連携

・学校と地域の交流
・地域の防災拠点としての整備

④環境への配慮

・屋根や外壁の高断熱化、高効率照明の導入

配置計画のポイントについて

①多様で柔軟な学習空間

②健やかな学習・生活環境

③地域との円滑な連携

④環境への配慮

本再編小学校の「配置計画」を検討する際は、上記の考え方に基づきつつ
さらに下記のポイントに重点を置いて計画を行います

1）安心安全で機能的な学校

2）周辺環境との調和

3）屋外環境

4）経済性

5）工期・施工計画

配置計画のポイントについて

1）安心安全で機能的な学校

・歩車分離と歩道の安全確保
・避難所機能を備えた屋内運動場の整備

2）周辺環境との調和

・周辺への日影が最小限となるよう配慮
・普通教室、特別支援学習室の採光に配慮
・地域に調和する校舎デザイン

3）屋外環境

・十分な数の施設利用者用の駐車場を整備
・グラウンドは最大限の面積を確保

4）経済性

・仮設校舎の有無等、経済性に配慮
・与条件を満たすコンパクトな計画

5）工期・施工計画

・学習環境への影響を最小限とする計画
・工事中の児童の安全性を確保

「旭小学校と豊平小学校を中心とした学校施設・地域コミュニティ施設の再構築」に関する意見書

地域・保護者・学校関係者の代表者の皆様（豊平地区学校配置検討委員会）と、約2年にわたり、学校規模の適正化について協議を行い、令和7年6月9日、協議結果を取りまとめた意見書を札幌市教育委員会へご提出いただきました。



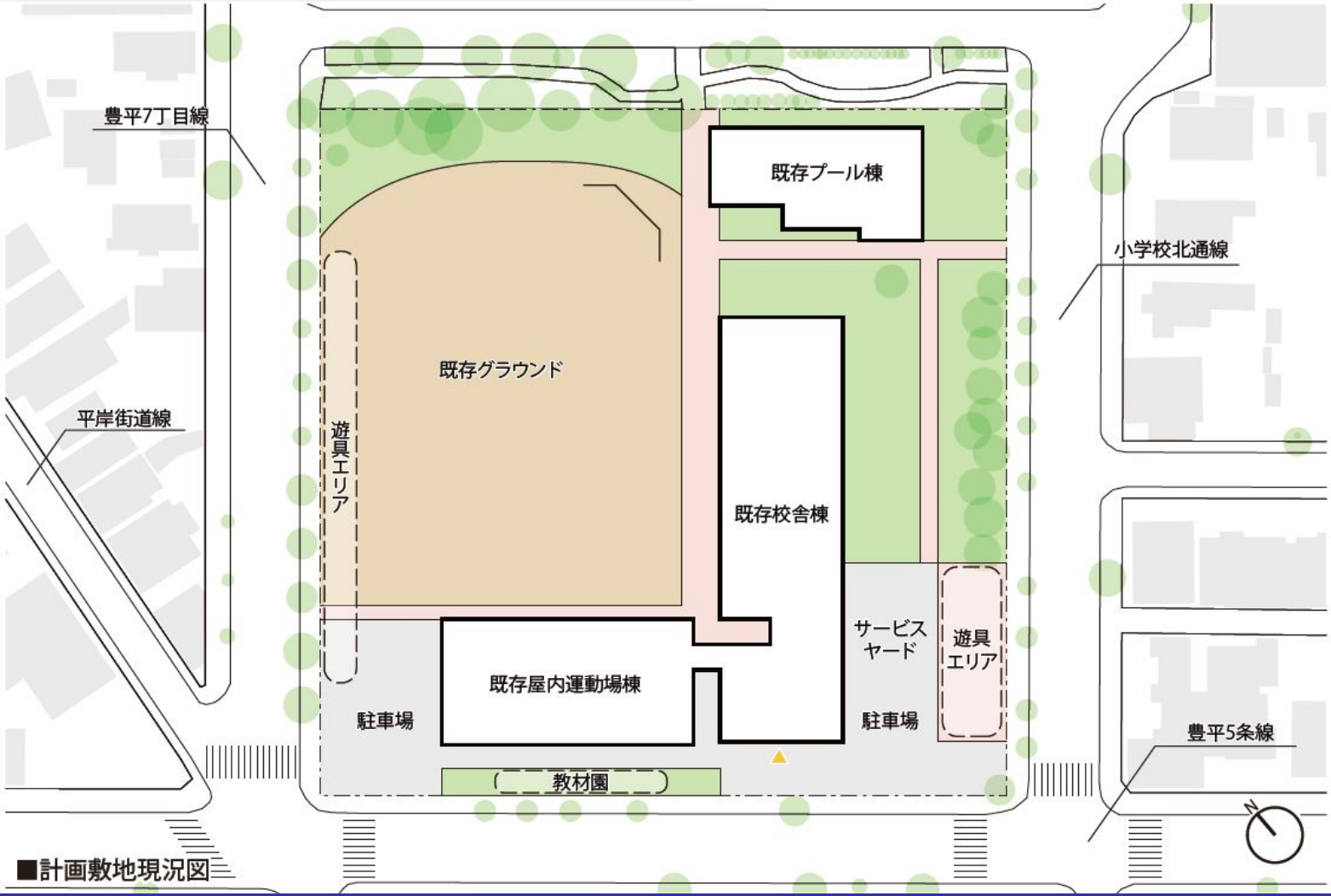
―施設整備に関わるご意見（一部抜粋）―

- ・一年でも早く改築を完了させること
- ・児童が安全に通学できる計画とすること
- ・両校の特色ある教育内容や歴史等に配慮した計画とすること

いただいたご意見を反映した計画とします

１．基本方針・設計の考え方
２．配置計画案について
３．事業スケジュール

豊平小学校の現在の配置



■計画敷地現況図

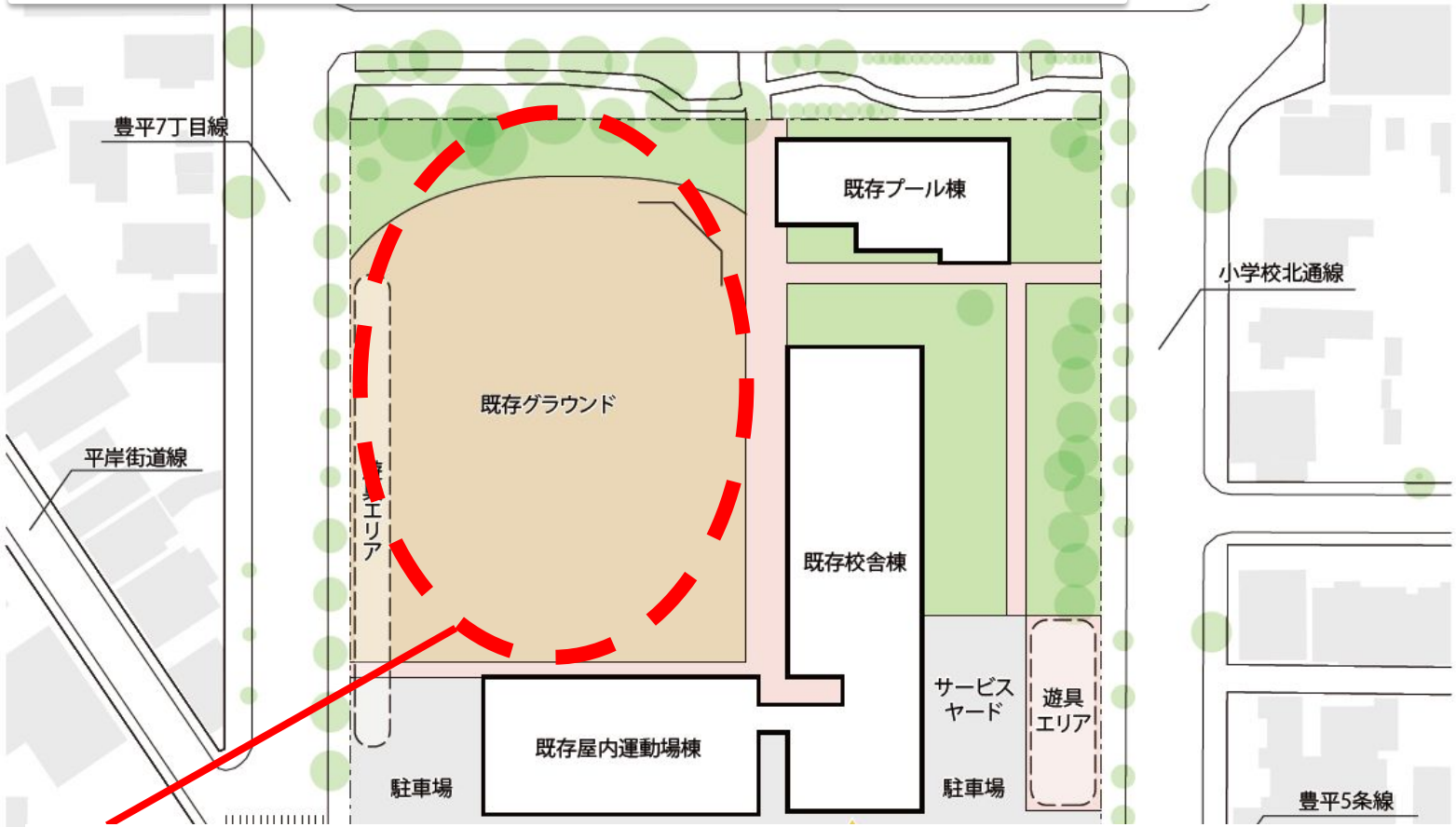
グラウンド部分への新校舎建設案

- A案　全施設同時建設案（5階建て案）
- B案　学校・児童会館先行建設案（4階建て案）

仮設校舎建設による原位置への新校舎建設案

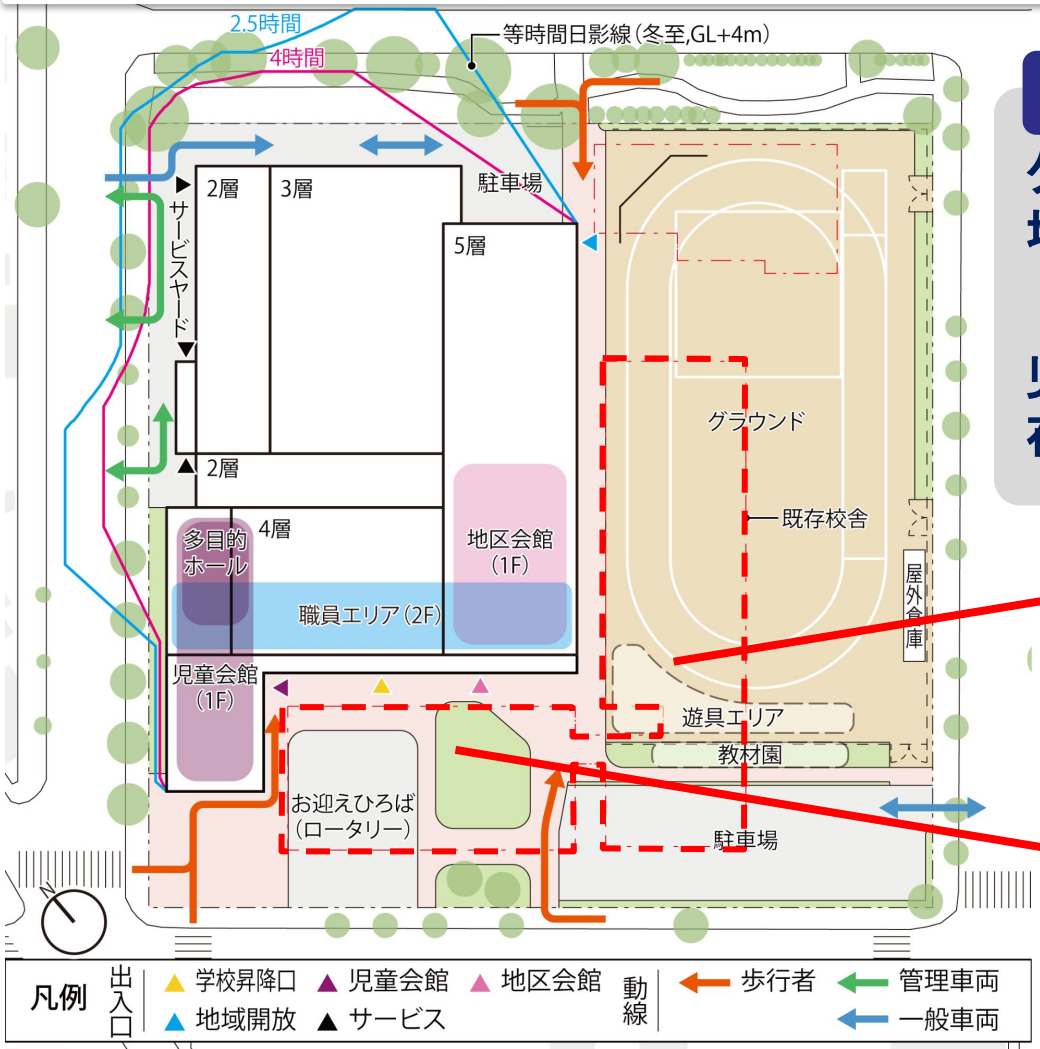
- C案　仮設校舎建設案

グラウンド部分への新校舎建設案



現在、建物がないグラウンド部分に新校舎を建設する
⇒現在の校舎を使いながら新校舎の建設を進めることができる

A案　全施設同時建設案（5階建て案）



◆ポイント

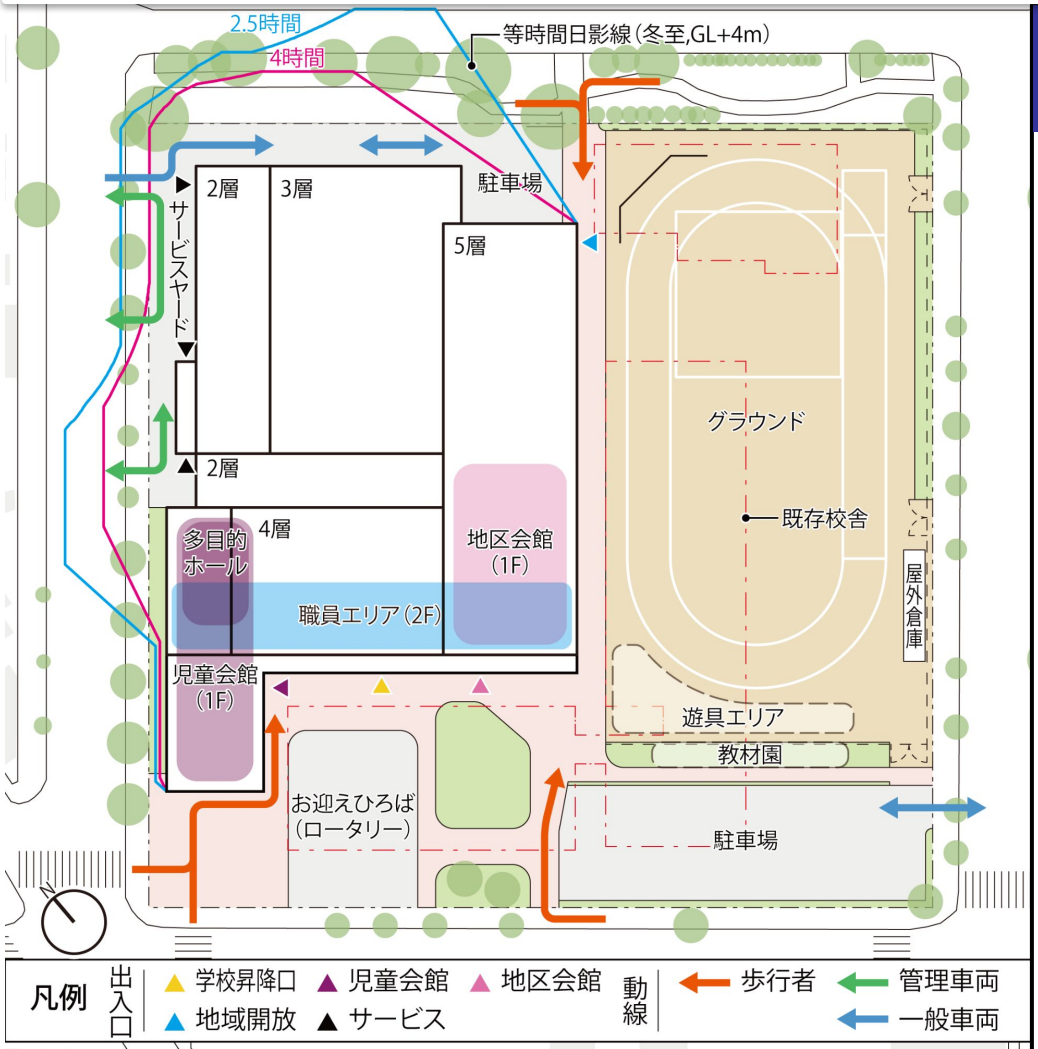
グラウンドに全施設（学校・児童会館・地区会館等）を同時に建設する

児童・先生が新校舎に引っ越し後、既存の校舎・屋内運動場を解体する

既存校舎

既存屋内運動場

A案　全施設同時建設案（5階建て案）



A案の評価

・工事期間：○

○工事期間が短く、児童・先生・住民の方々への負担が少ない

・コスト：○

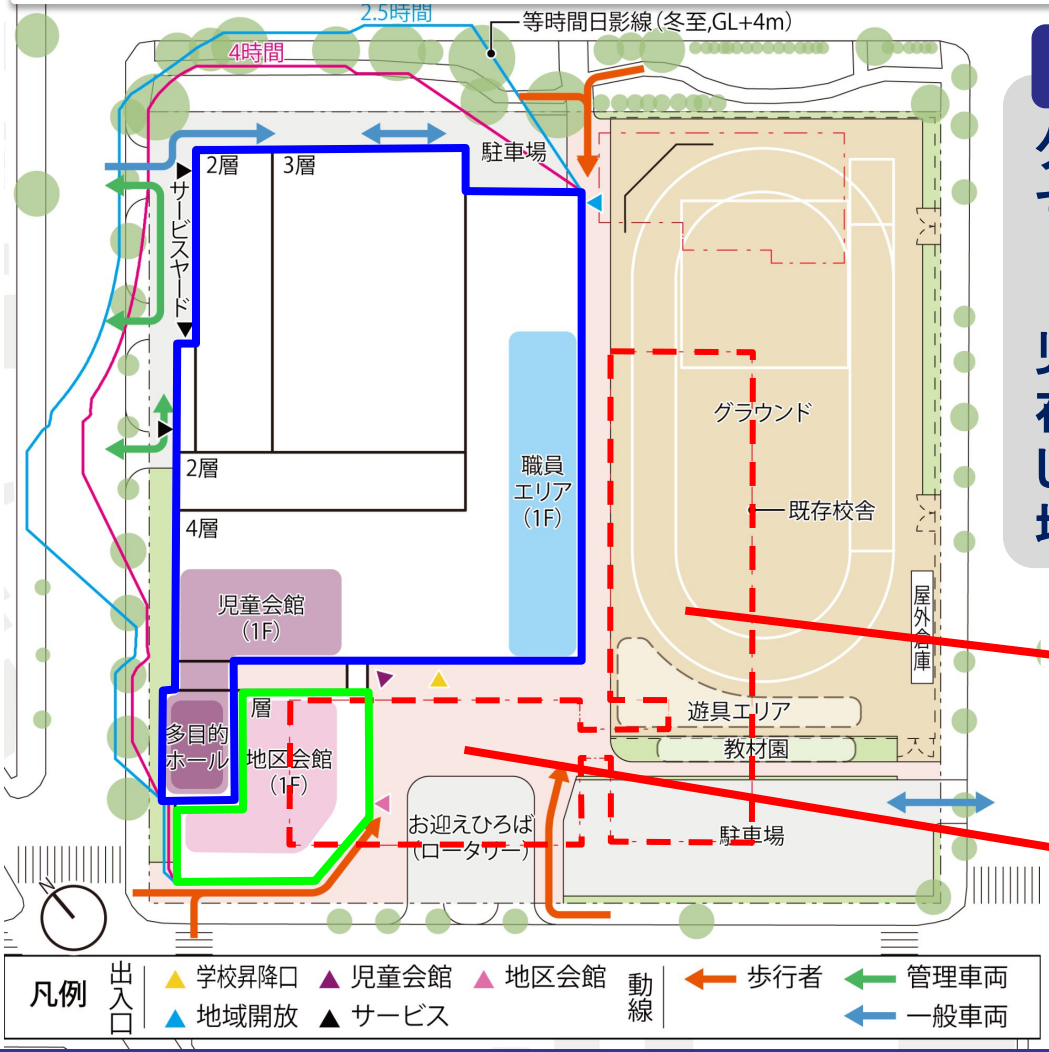
○仮設校舎の建設が不要

・施設の使いやすさ：△

△5階建ての建物となり、上下階移動に負担がかかる

△地区会館利用者が多目的ホールを使いにくい

B案　学校・児童会館先行建設案（4階建て案）



◆ポイント

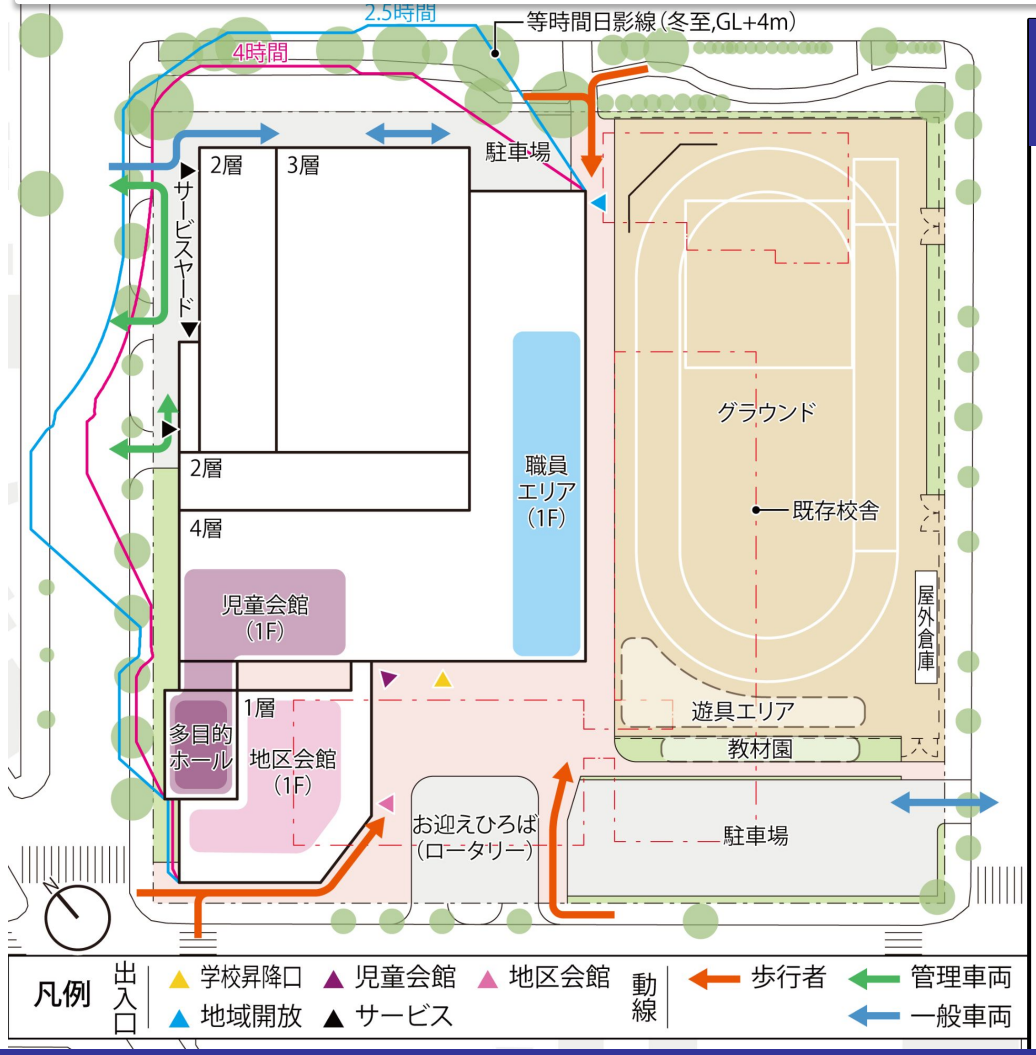
グラウンドに学校・児童会館を先行して建設する

児童・先生が新校舎に引っ越し後、既存の校舎・屋内運動場を解体し、解体した屋内運動場跡地に地区会館等を増築する

既存校舎

既存屋内運動場

B案　学校・児童会館先行建設案（4階建て案）



B案の評価

・工事期間：○

○工事期間が短く、児童・先生・住民の方々への負担が少ない

※地区会館等が後追いで供用開始となる

・コスト：○

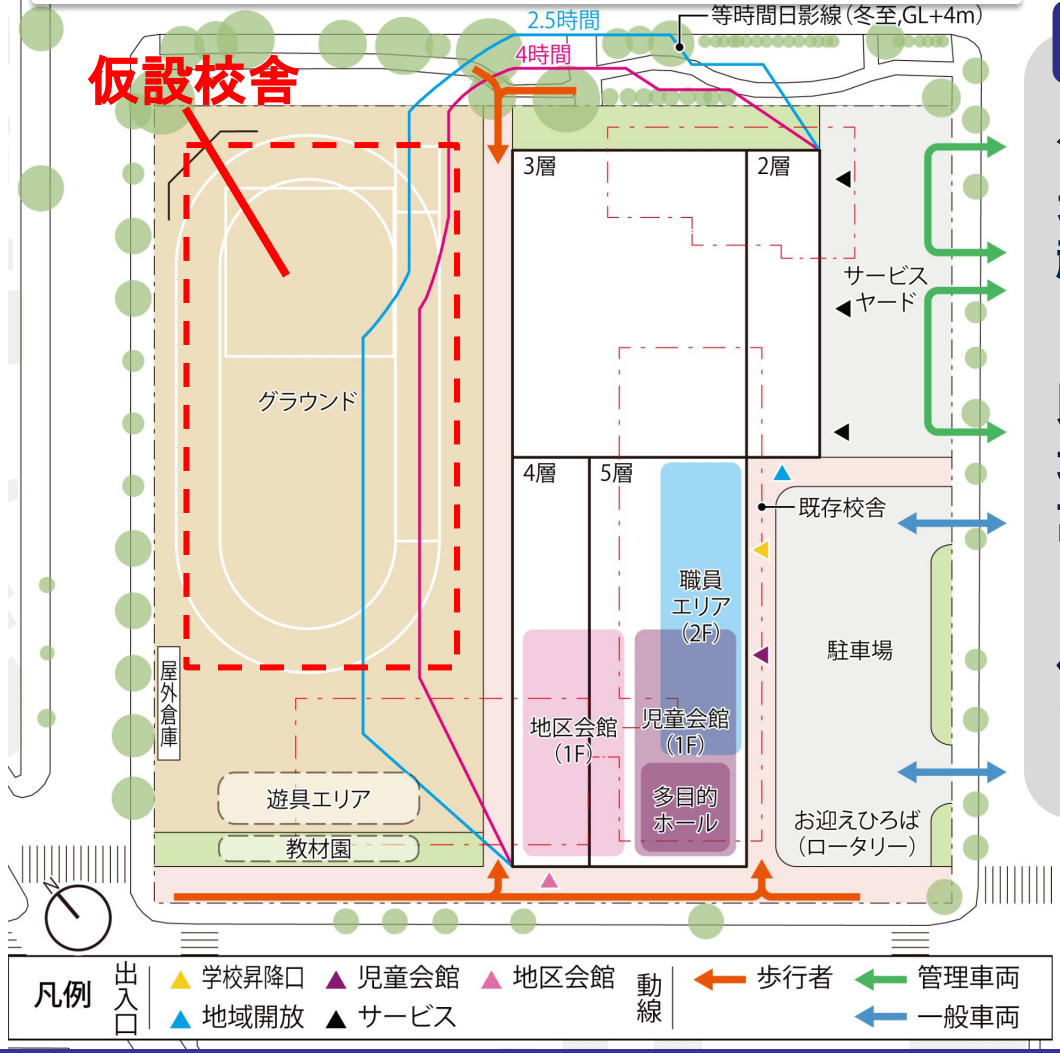
○仮設校舎の建設が不要

・施設の使いやすさ：○

○4階建ての建物となり、上下階移動に負担が少ない

○児童会館・地区会館利用者共に多目的ホールを使いやすい

C案　仮設校舎建設案



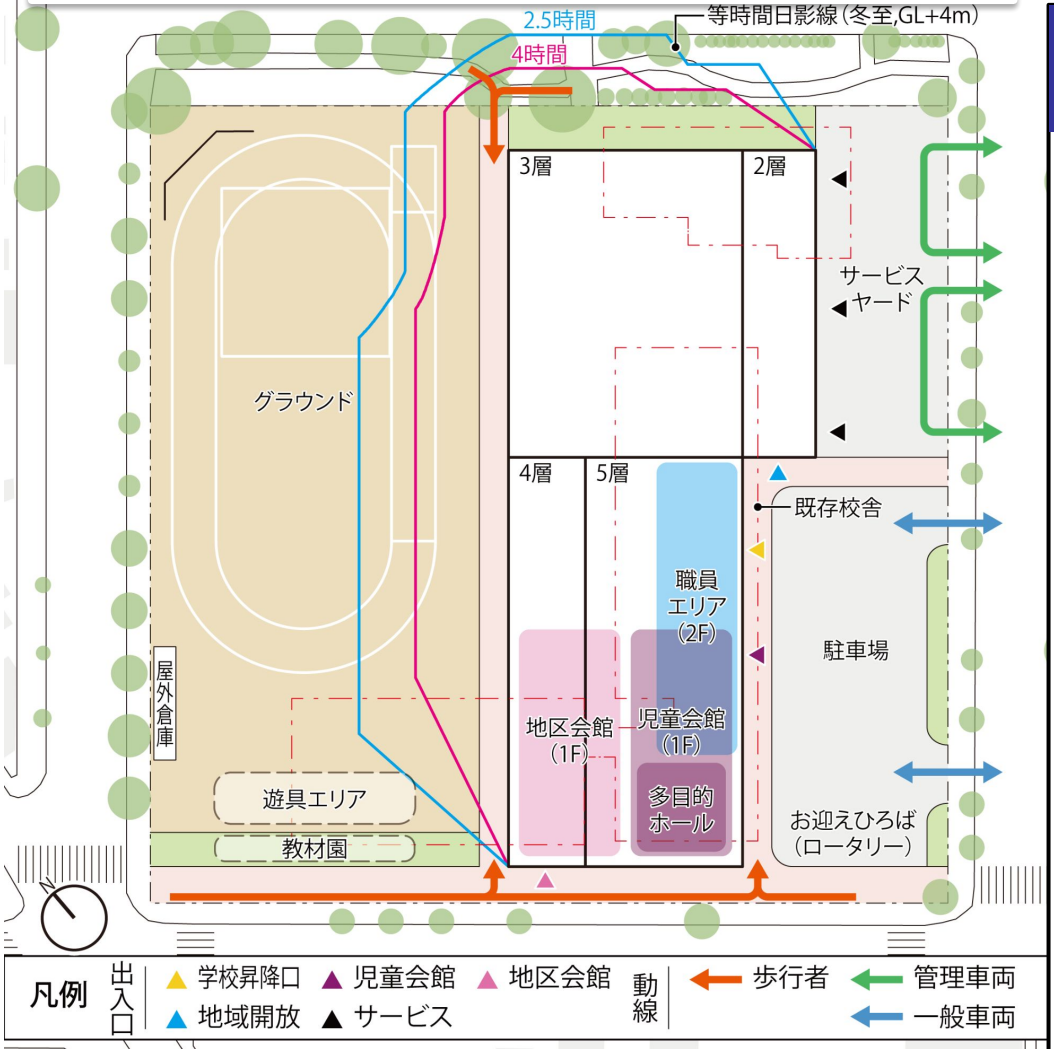
◆ポイント

グラウンドに仮設校舎を建設し、児童・先生が既存校舎から仮設校舎に引っ越しする

既存の校舎・屋内運動場を解体し、跡地に学校・児童会館・地区会館等を建設する

仮設校舎から新校舎に児童・先生が引っ越し後、仮設校舎を解体する

C案　仮設校舎建設案



C案の評価

・工事期間：×

×工事期間が長く、児童・先生・住民の方々への負担が大きい

・コスト：×

×仮設校舎の建設が必要

・施設の使いやすさ：○

○既存の建物の形状の影響を受けずに計画可能

２．配置計画案について

グラウンド部分への新校舎建設案

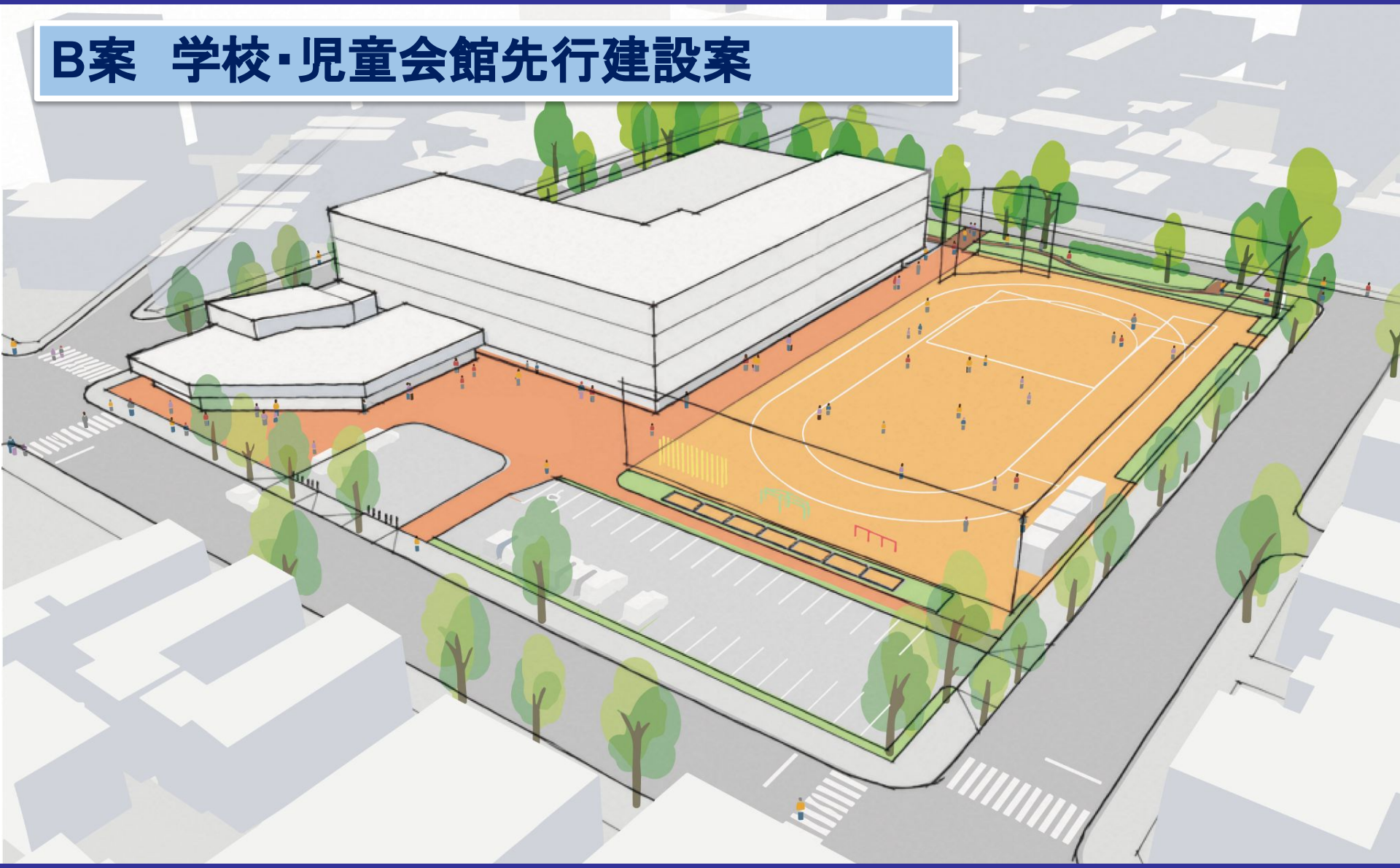
- A案　全施設同時建設案（5階建て案）
- B案　学校・児童会館先行建設案（4階建て案）

仮設校舎建設による原位置への新校舎建設案

- C案　仮設校舎建設案

⇒工事期間・コスト・施設の使いやすさ 等の観点で
総合的に最も優れているB案ベースで検討することが妥当と考えられる。

B案　学校・児童会館先行建設案



B案　学校・児童会館先行建設案の特徴

①多様な使い方ができる昇降口前広場

②安心安全な児童の通学動線と歩車分離

③ゆとりある駐車スペース

④魅力ある室内開放空間の創出

⑤複合する各施設の連携しやすい配置

⑥機能的な職員室の配置

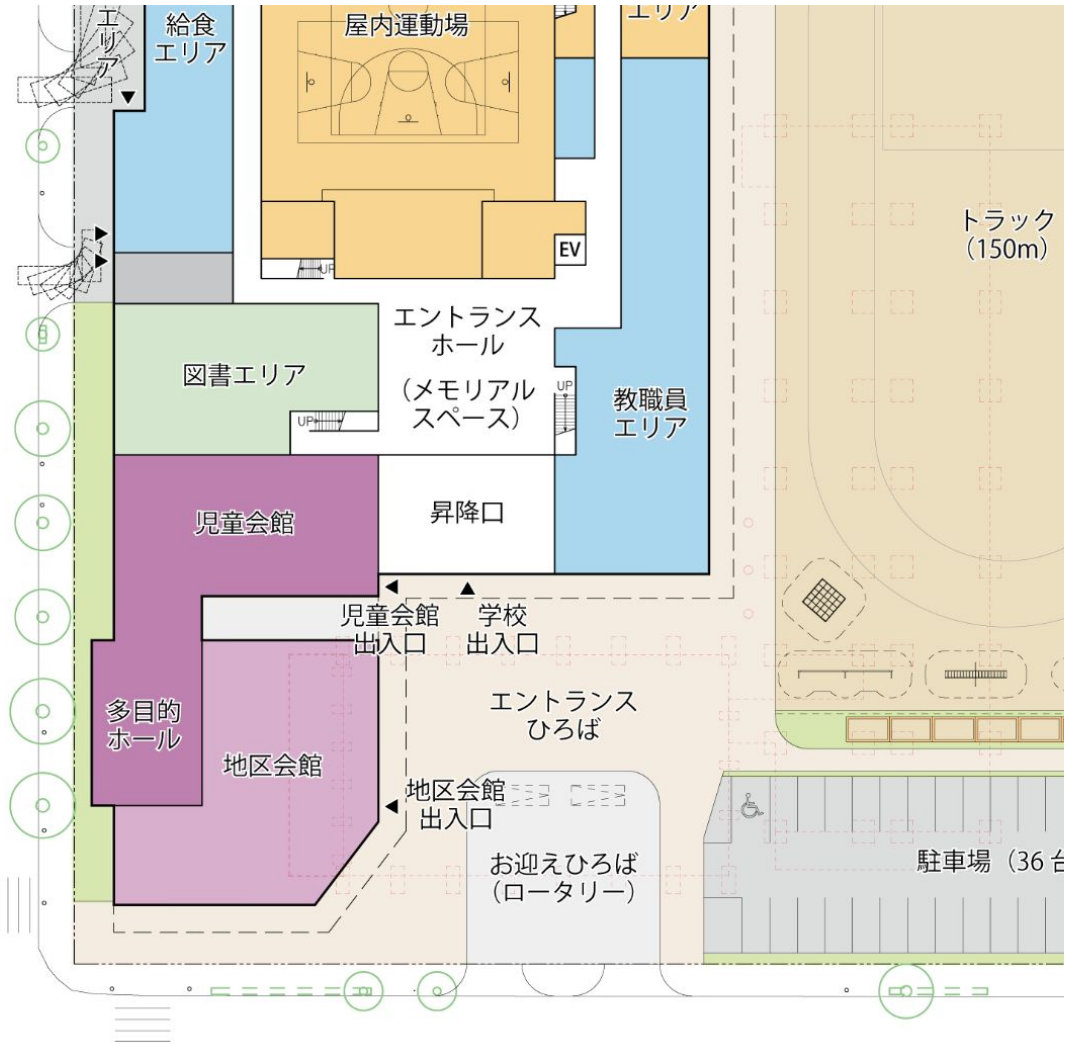
⑦周辺への日影の配慮

①多様な使い方ができる昇降口前広場



昇降口前に広いスペースを確保

①多様な使い方ができる昇降口前広場

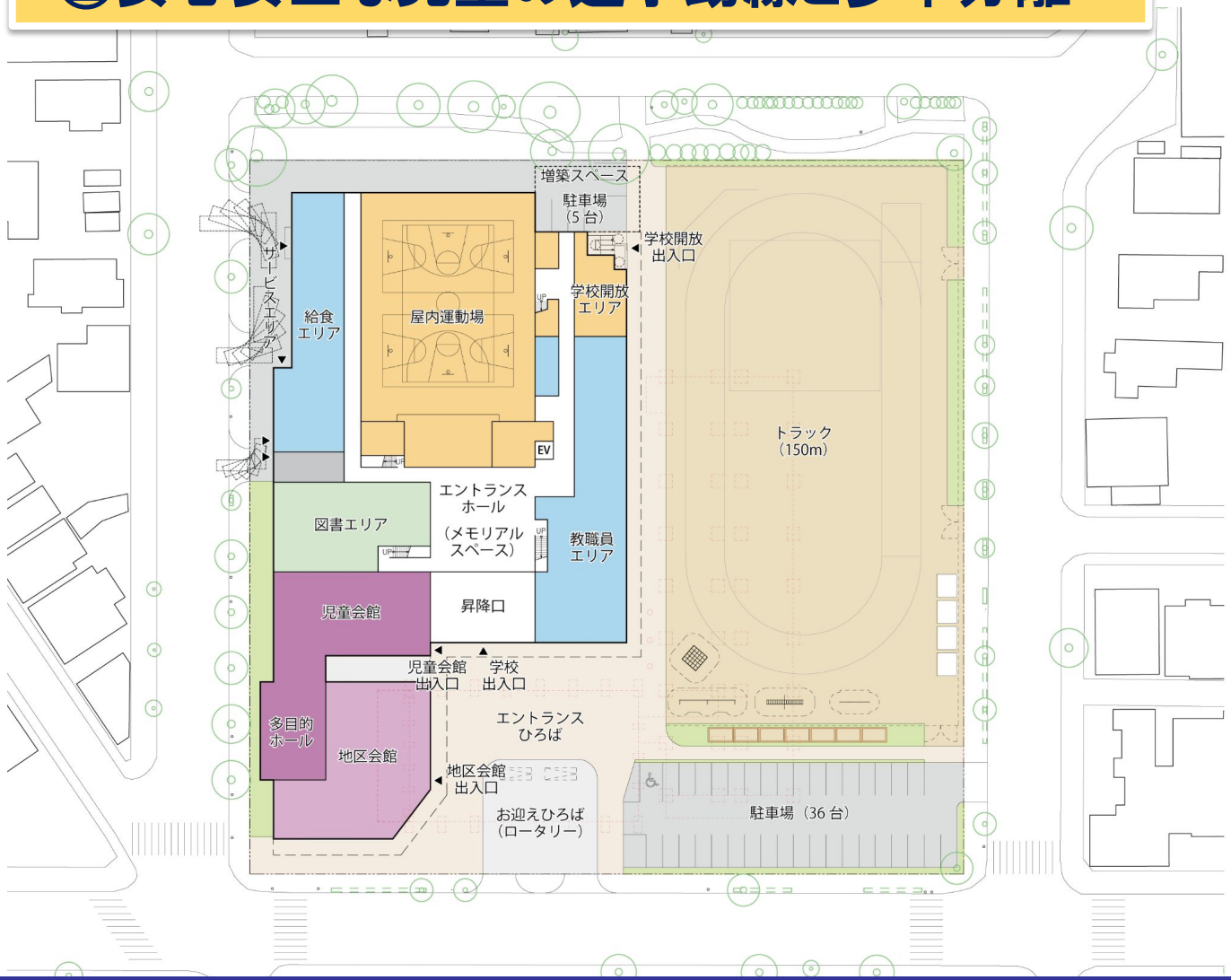


―想定する使い方―

◆授業時間中
⇒課外授業スペース
⇒遠足・社会科見学等を行う際の児童やバスの一時待機スペース

◆授業時間外
⇒児童会館利用者等の送迎車の待機スペース

②安心安全な児童の通学動線と歩車分離



②安心安全な児童の通学動線と歩車分離



庇のある部分を通行することで雨等に濡れずに通行可能

②安心安全な児童の通学動線と歩車分離

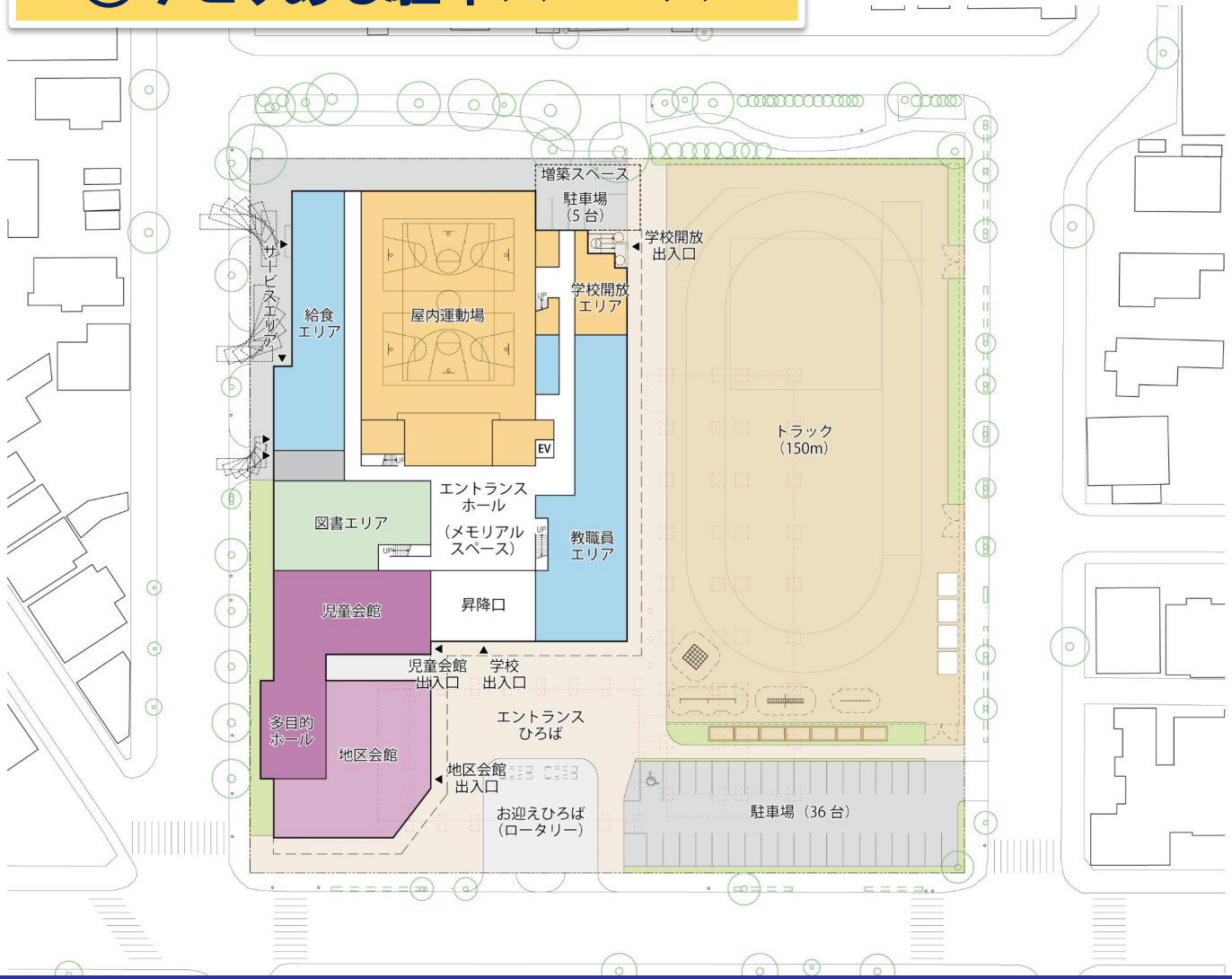


凡例

- ▲ 歩行者出入口
- ▲ 車両出入口
- - - 児童通学動線

児童通学動線と車両動線が交差することがないため安全性が高い

③ゆとりある駐車スペース



③ゆとりある駐車スペース



十分な数の駐車スペースを確保

④魅力ある室内開放空間の創出



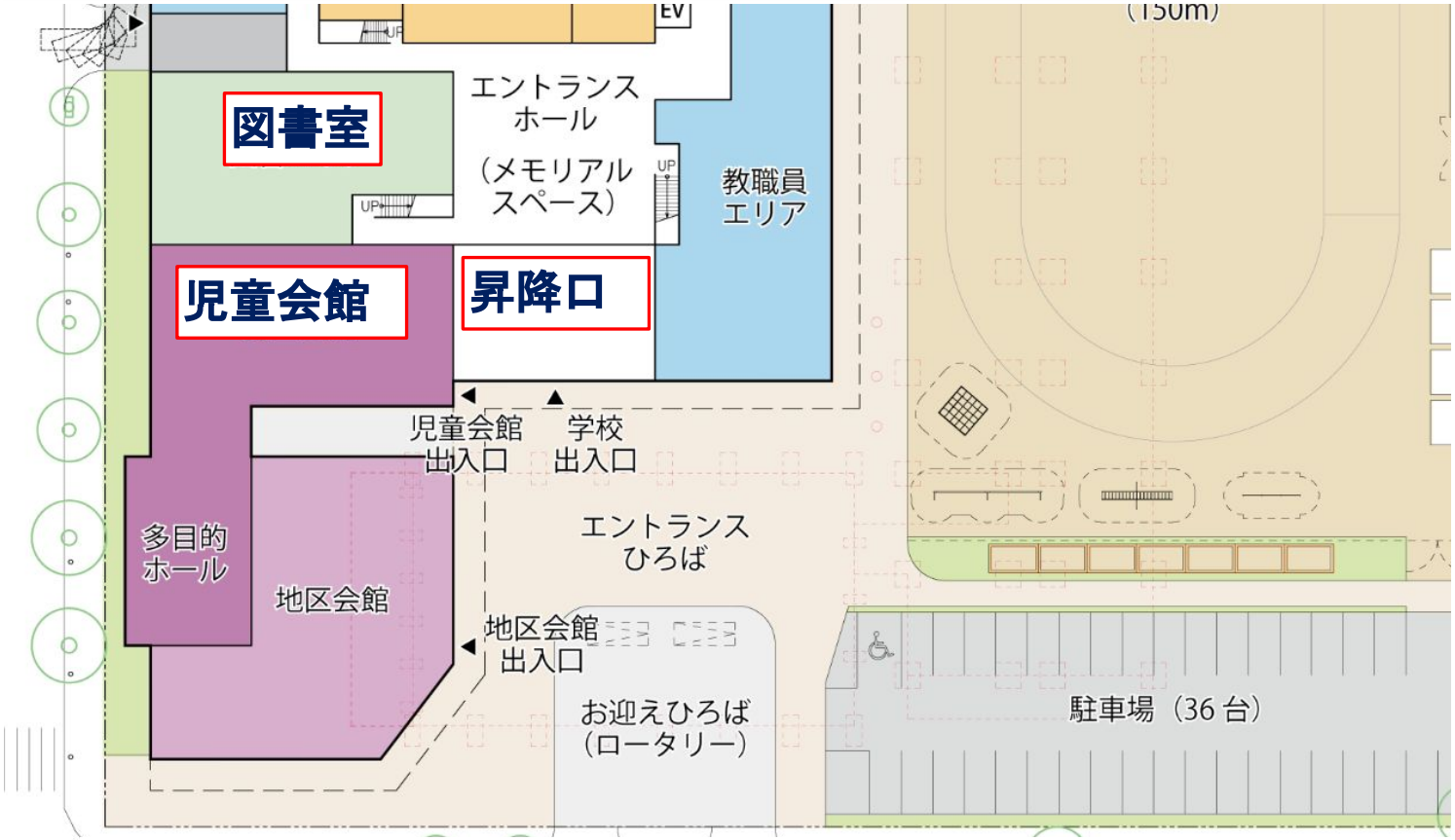
昇降口から入った先にエントランスホールを配置し、地域の歴史を感じることができる象徴的な空間を整備

④魅力ある室内開放空間の創出



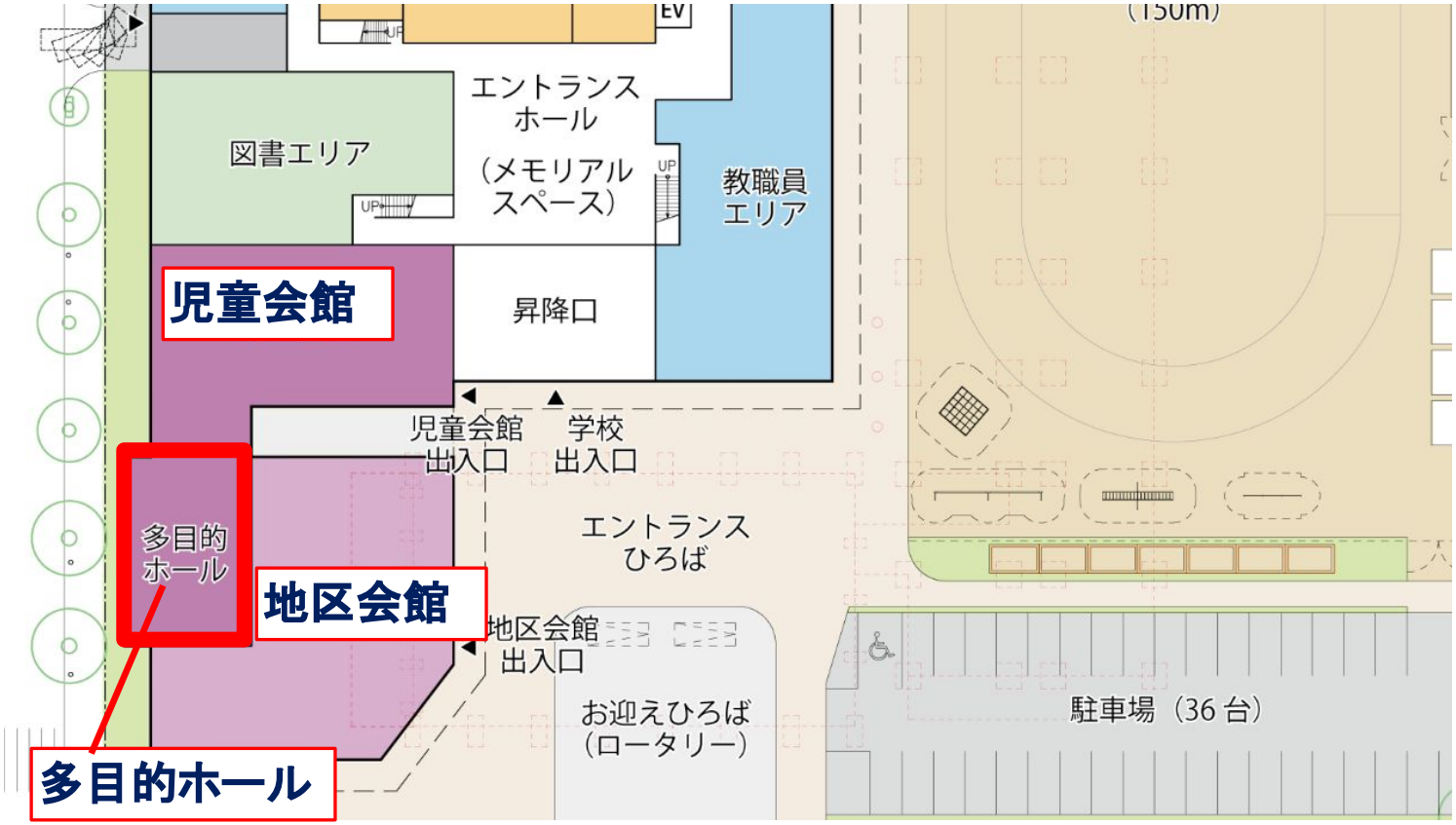
※現時点のイメージ図であるため、今後の検討で変更となる可能性があります。

⑤複合する各施設の連携しやすい配置



児童会館と昇降口を近接させることで靴の移動を効率化
また、図書室の共用も容易に行うことができる

⑤複合する各施設の連携しやすい配置



多目的ホールを地区会館等と近接させることで
児童会館と地区会館等で円滑な相互利用が可能

⑥機能的な職員室の配置



職員室を１階に配置し、
昇降口、グラウンド、遊具スペースを見渡せるよう工夫

⑦周辺への日影の配慮

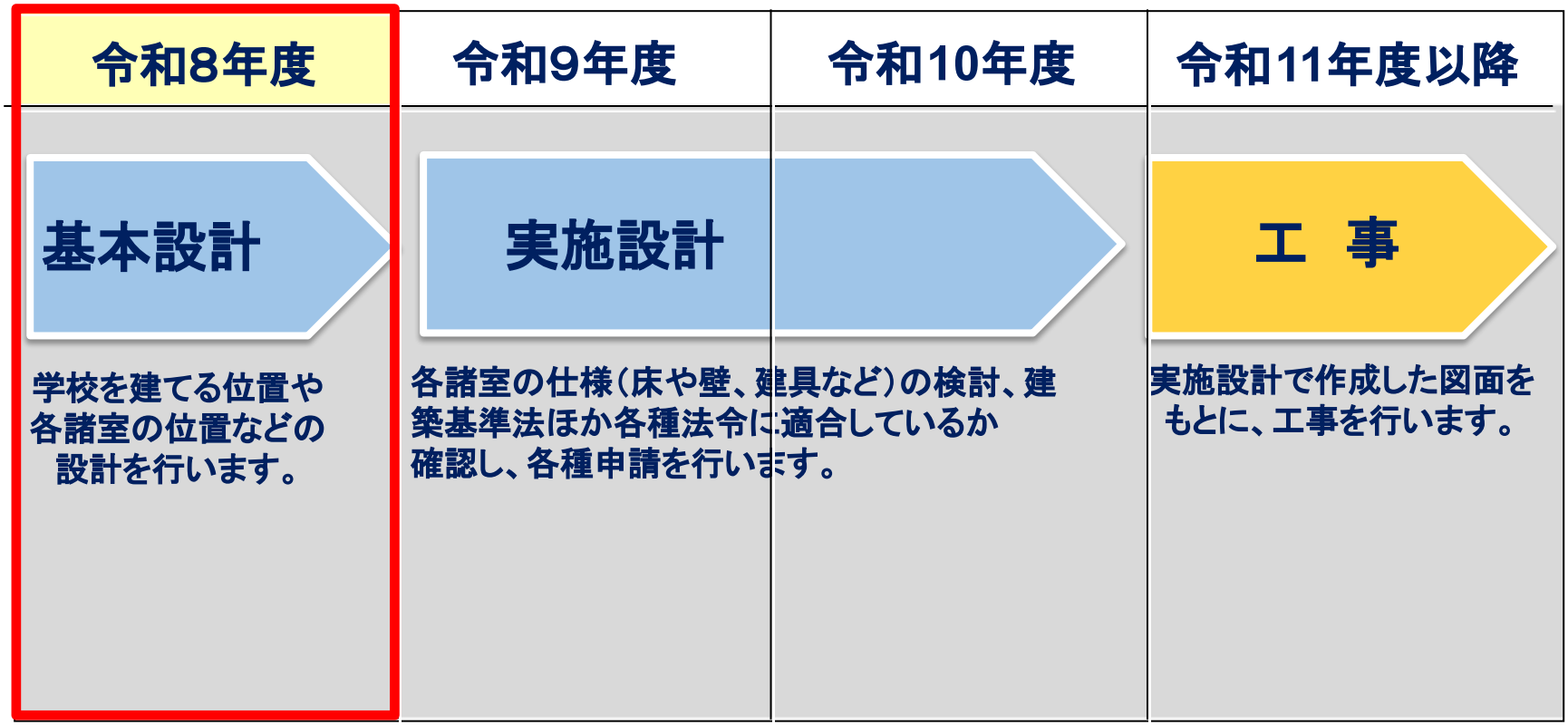


：2.5時間日影線
：4時間日影線

**建物の位置を敷地境界からセットバックし、
さらに日影の影響がある北西側に低層部を設け ることで、
周辺への日影の影響を最小限にする計画とします**

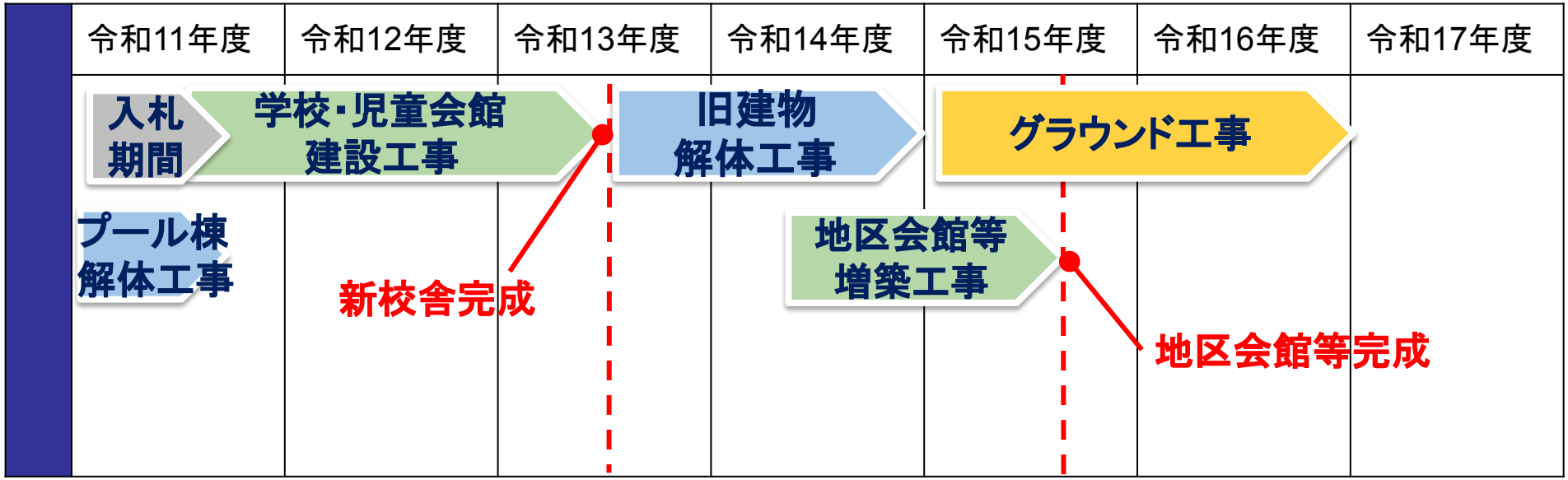
１．基本方針・設計の考え方
２．配置計画案について
３．事業スケジュール

3. 事業スケジュール



※スケジュールは今後の検討で変更となる可能性があります。

3. 事業スケジュール



※スケジュールは今後の検討で変更となる可能性があります。